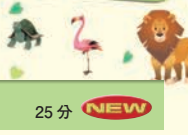


事例で学ぶ! 小児の医療安全



子どもは、自分で危険を察知したり、回避したりする能力がまだ未熟です。小児看護では、看護師の援助1つ1つが、子どもの生命や健康の安全を守ることになります。本シリーズは、小児看護の場面におけるインシデントやアクシデントの事例を紹介し、成長・発達段階にある子どもの運動能力や認知能力の理解を深めながら、危険を予測できる視点を養い、事故防止のための正しい対応について学びます。



DVD ■ DVD全2巻 ■ 各巻価格 ¥28,000 (税込¥30,800)
 ■ 全2巻セット ¥56,000 (税込¥61,600)

■ 監修：川端 智子 滋賀県立大学 人間看護学部 准教授
 米田 照美 滋賀県立大学 人間看護学部 准教授
 ■ 原案：玉川 あゆみ 滋賀県立大学 人間看護学部 講師

NEW

VOL.1 転倒・転落の防止 27分 **NEW**

CASE 1 は看護師が目を離した際、0歳11か月男児が突然動き出してベッドから転落しそうになったヒヤリ・ハット事例です。粗大運動が発達し、探索行動や後追い行動がみられる子どもの安全について考えます。**CASE 2**は4歳男児が、床頭台に置いてあるおもちゃを取ろうとして、ベッドから転落してしまっ事故事例です。運動能力の発達が著しく、一方で自己中心性が高い子どもの安全について考えます。**CASE 3**は輸液療法中7歳女児が一人でトイレにいき、転倒してしまっ事故事例です。排尿行動が自立した子どもが点滴をしている際の安全について考えます。

VOL.2 誤食・血管外漏出の事故防止 25分 **NEW**

CASE 1は鶏卵アレルギーがある4歳男児が、原材料に鶏卵が使われているおやつを食べようとしたところを発見したヒヤリ・ハット事例です。直感的位相の段階にあり、子ども同士の相互関係が発達してくる時期における安全について考えます。**CASE 2**は0歳11か月男児の点滴刺入部を保護し、その後の観察が不十分であったために血管外漏出が起きてしまっ事故事例です。血管外漏出は未然に防ぐことが難しい場合もありますが、早期発見のための適切な対応や留意点などを考えます。

©2023



小児看護のためのアセスメント事例集

この番組は、小児看護のアセスメント演習のために作成された映像による事例紹介番組です。疾患により、入院することになった小児の入院にいたるまでの経過から、身体症状、不安・恐怖、家族の不安・心配、治療援助で起こる問題などをモデルを使って紹介しています。本シリーズは、より現実にもった看護計画を立てるうえで必要な情報収集の仕方や、小児の一般的な疾患の看護を学習する機会を提供します。小児看護のイメージづくりやグループディスカッションなどでぜひ活用ください!

■ 各巻価格 ¥28,000 (税込¥30,800)
 ■ DVD全6巻 ■ 全6巻セット ¥168,000 (税込¥184,800)

DVD **NEW**

VOL.1 喘息発作で入院した小児の看護事例 27分

■ 監修：鈴木 恵理子 淑徳大学 看護栄養学部 教授
 ■ 原案：小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
 長谷川ももか(4歳女児)ちゃんは、喘息の発作で入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として入院や処置による苦痛やストレス、家族の不安、喘息コントローラーの怠業など、看護援助で生じる問題や母親に生じている問題に注目し、入院から退院までの看護場面を紹介しします。

VOL.2 ネフローゼ症候群で入院した小児の看護事例 25分

■ 監修：鈴木 恵理子 淑徳大学 看護栄養学部 教授
 ■ 原案：小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
 佐々木光(8歳男児)くんは、ネフローゼ症候群で入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、倦怠感や浮腫による身体的苦痛、初めての入院に対する子どもの不安、親の不安、腎生検に対する不安、腎生検後の苦痛、ステロイド薬長期使用による副作用の可能性などに注目し、入院から退院までの看護場面を紹介しします。

VOL.3 急性胃腸炎で入院した小児の看護事例 24分

■ 監修：鈴木 恵理子 淑徳大学 看護栄養学部 教授
 ■ 原案：小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
 鈴木美羽(生後5か月女児)ちゃんは、急性胃腸炎で入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、水分摂取不足、脱水、臀部のびらんの可能性、悪心嘔吐による苦痛、家族の不安、感染防止など看護援助で生じる問題や家族に生じている問題に注目し、入院から退院までの看護場面を紹介しします。

VOL.4 低出生体重児とその家族への看護事例 32分

■ 監修：小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
 ■ 原案：伊藤 奈津子 淑徳大学 看護栄養学部 助教
 田中陽菜(在胎週数31週5日女児)ちゃんは、緊急帝王切開にて体重1,660gで生まれNICUへ入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、低出生体重児の胎外生活への適応、父親の不安、母親の自責の念、母子の愛着形成、母体の回復、育児への不安など家族に生じている問題に注目し、日齢0~50日までの看護場面を紹介しします。

VOL.5 川崎病で入院した小児の看護事例 30分

■ 監修：小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
 ■ 原案：伊藤 奈津子 淑徳大学 看護栄養学部 助教
 足立幸彦(1歳4か月男児)くんは、川崎病と診断され入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、発熱、口唇の紅潮といった症状による子どもの苦痛、免疫グロブリン療法に対する親の不安、アスピリンの服用を嫌がる子どもへの対応などに注目し、入院から退院までの看護場面を紹介しします。

VOL.6 膀胱尿管逆流で手術を受けた小児の看護事例 41分

■ 監修：小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
 ■ 原案：伊藤 奈津子 淑徳大学 看護栄養学部 助教
 だいち(1歳2か月男児)くんは、膀胱尿管逆流で手術を受けることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、手術を受ける子どもの安全と安楽、親の不安や心配、術後ルート類の自己抜去防止などに注目し、術前、術中、術後の周術期の場面を紹介しします。

©2014~©2018